

事務事業名		碁石ラベンダーまつり運営事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実					01	06	01	03	25
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 22 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所 属	部課名	農林水産部 農林課									
	係 名	農政係	電話 内線	27-3111 344							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画 (※期間限定複数年度のみ)						
①ラベンダーまつりを開催する事業 ②「碁石海岸ラベンダーまつり実行委員会」にまつりの運営を委託する。実行委員会は市農林課が事務局となっている。また、ラベンダー畑の植栽管理を行う。 ③事業費は、ラベンダーまつりの委託料、ラベンダー畑の敷地借上料、ラベンダー畑倉庫の電気使用料に使用。					総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金				
							都道府県支出金				
							地方債				
							その他				
							一般財源				
							事業費計 (A)	0			
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)

前年度実績 (前年度に行った主な活動)

- ・ラベンダーまつりの開催
- ・ラベンダー畑の管理

今年度計画 (今年度に計画している主な活動)

- ・震災の影響により碁石ラベンダーまつりは中止した。
- ・ラベンダー畑の管理
- ・ラベンダーの育苗管理を委託する。

② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- ・碁石海岸ラベンダーまつり実行委員会

③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・円滑に事業を運営してもらう。

④ 結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

- 大船渡市を訪れてもらう。

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 実行委員会開催数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 構成団体数	団体
キ	
ク	

⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ イベント数	回
シ 実施イベント数/計画イベント数	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円						196
		事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	0	196
		正規職員従事人数	人						2
		延べ業務時間	時 間						112
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	0	448
トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	0	0	0	644	
⑤活動指標	ア	回	-	-	-	-	-	1	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	団体	-	-	-	-	-	6	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	回	-	-	-	-	-	3	
	シ	%	-	-	-	-	-	100	
	ス								

事務事業ID	1409	事務事業名	碓石ラベンダーまつり運営事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
平成21年に末崎町三十刈住民で設立した「碓石ハーブ研究会」が解散することとなり、ラベンダー畑の管理及びラベンダーまつりの運営をとりやめることとなった。ラベンダーは、市にとって夏の貴重な観光資源であり、10数年間継続して行ってきたラベンダーまつりにおいては、観光客誘致や地域の活性化に寄与してきたことから、市で管理運営を請け負うこととなった。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
これまで「碓石ラベンダー研究会」で開催してきたラベンダーまつりのリピーターが多い。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
ラベンダーまつりを継続してほしいという声が市民から寄せられている。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価			
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] ラベンダーまつりの開催により、碓石海岸に来る観光客が増え、産業の振興につながる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] 大船渡市の観光資源の維持をはかるため、公的関与は妥当である。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] 対象は実行委員会であり、限定・追加することはできない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] イベント開催数は適正であり、イベント実施率は100%であることから、成果を向上させる余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] 碓石海岸に訪れる観光客が減ることが予想され、産業の振興を図ることができない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 類似事業はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] ラベンダーまつりの運営を目的とする「碓石海岸ラベンダーまつり実行委員会」に委託する際、見積書の提出を求め、内容を精査している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] ラベンダー畑の管理は市が、またラベンダーまつりの運営を「碓石海岸ラベンダーまつり実行委員会」に委託しているが、実際は市が運営に携わっている。現在のところ、これらを請け負う団体が見当たらないことから、当面は市で管理運営を行わなければならない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] 受益者負担が伴わない事業である。	

事務事業ID	1409	事務事業名	碁石ラベンダーまつり運営事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ラベンダーまつりを継続して実施することにより、観光客に対してイベントの浸透を図る。														
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																										
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ラベンダーまつりを継続して実施することにより、観光客に対してイベントの浸透を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																												

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者		農林課長																											
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																													
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。															
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																											
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																											
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																											
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																											
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☒ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・平成23年度は東日本大震災対応で実施できなかった。 ・平成24年度以降については、東日本大震災の復旧・復興事業を優先的に推進するため、当面、まつりは休止する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持			×																									
低下	維持		×	×																									
	低下																												

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
